

令和7年9月定例会議 一般質問

1 番議員 清水 友紀

伝統と文化の価値を高め、継承されるまちづくりを

町の伝統・文化という地域資源を見つめ直し、その個性と魅力を最大限に引き出した戦略立案を行うことは、地方創生の考えに沿うものである。

本町も、新たな開発、新たな施策を進めると同時に、町の伝統や文化に着目し、より質を高め、深みあるまちづくりを目指すときではないか。

少子高齢化や移住者の受け入れが進むなかでも、伝統や文化の周知と継承、維持管理に、自治会や有志団体などが精いっぱい励んでいる。

そのような町民活動を支援する意味を込めて、行政として伝統や文化の価値、ひいては町の価値を高める手立てがあると考え、以下について問う。

- 1 町の歴史を語る文化財や、町民の伝統行事や暮らしに根付いた文化財について、町指定文化財としての認定を促進する考えは。
- 2 ふるさとの景色である箱根外輪山や酒匂川の松並木などの自然景観、また貴重な矢倉沢往還といった文化的景観を守るために、条例を制定する考えは。
- 3 文化財や景観の価値を地域住民と共有するための取り組み、また、酒匂川に関しては、ともに一級河川化を望む流域自治体と共有するための取り組みは。